

実世界指向協調動作定義アプリケーションの開発

開発者: 古市悠

所属: 慶応義塾大学

政策・メディア研究科

• キャッチコピー

Sticky Editor: ユビキタス環境への第一歩。

• 開発目的

プログラミングスキルのない一般ユーザによる異機種間協調動作定義の実現。

• アプリケーションについて

- マルチボタン: ボタンを様々な用途に使う
- マルチタイマー: タイマー機能の外部化
- Smart Bus Stop: 公共サービスのパーソナライズ化

実世界指向協調動作定義アプリケーションの開発

機能と特徴

本アプリケーションは実世界の行動メタファを用いた定義をGUI上で行う事にリユビキタス環境内に偏在する機器間における協調動作定義を実現する。

- 特徴: 付箋のメタファを用いた定義手法、実世界指向GUI

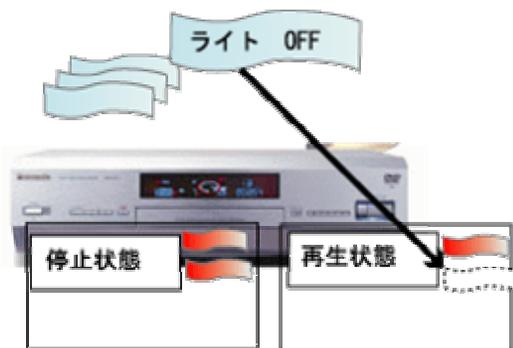


図1: 定義手法

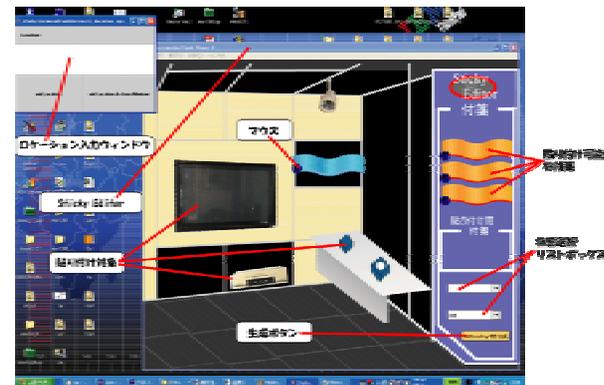


図2: 実世界指向GUI

効果

近年、情報技術の発達により様々なアプリケーションが開発されている。しかし、その一歩として情報弱者と呼ばれる人が出現してきている。本アプリケーションはこのような中、行動メタファを用いた定義手法を用いているためプログラミング能力のない人でも利用することが可能である。本アプリケーションによりユビキタス環境はよりユーザフレンドリな環境を提要する事が可能となる。